

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立姫島小学校（大阪府）【指定校】

## 【取組内容】 授業におけるICT機器やアプリケーションの普段使い促進

### ②情報活用能力の育成

#### 小中9年間を見通した 情報活用能力の育成



中学校での活動が円滑に進むように、次の4つを  
**小学校卒業までの達成目標**としました。

- ★1 メディアに対する批判的態度の醸成
- ★2 タイピングスキル向上
- ★3 Google Classroom を全校活用
- ★4 協働学習支援ツールの普段使い

情報活用能力



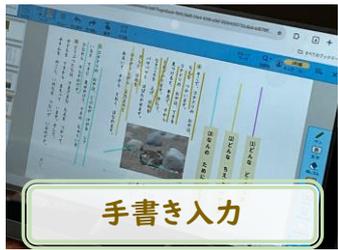
写真で相互鑑賞



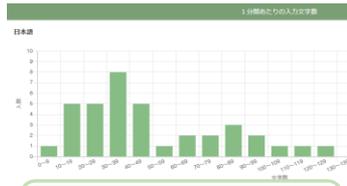
クラウド上で協働



情報への批判的態度



手書き入力



タイピングスキル向上

情報の整理・分析

### 小学校

### 中学校

1年生

2年生

3年生

4年生

5年生

6年生

1年生

2年生

3年生

#### 小1、2「写真を撮影できる」

タイピングができなくても、自分が発見したこと・気づいたことを表現するため、学習者用端末を使って、写真撮影ができるようになる。

ろう下で九九を見つけたよ!



#### 小2、3「タイピング開始」

ローマ字の学習前から、タイピング練習を開始。初期段階はホームポジションを徹底してタイピングスキルの上達をめざす。



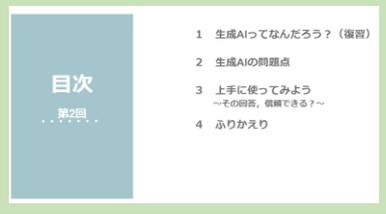
#### 全校 Google Classroom

「授業」タブにて、学習で使用する資料やワーク等を一元管理・表示。児童は学習の流れや課題を自分のタイミングで参照。



#### 小6「メディア・リテラシー」

SNSや生成AIから得ることのできる情報の妥当性を考え、複数の情報源にあたり、批判的にメディアに接する姿勢を育む。



学校行事